

VII

『学習のしおり2014』より再掲（参考）

2013年度からの 変更点について

（対象：2012年度以前入学者）



1

2013年4月からのカリキュラム変更・各種制度の変更について

2013年4月からカリキュラム・各種制度を変更しています。これに伴い、一部の科目を新しいカリキュラムの科目に読替えます。また、変更にあたり経過措置を設ける場合があります。変更等の内容は、P.128以降を参照してください。

これらの科目読替え・制度変更は、特に記載があるものを除いて、前期生・後期生を問わず、通信教育部に在籍する全ての方を対象に、2013年4月から適用されています。2013年4月以降に復籍・再入学された方も新しいカリキュラムが適用され、復籍・再入学前に単位を修得した科目を読替える場合があります。

なお、ここに掲載する内容は、これまでに『2013年4月大きく変わる法政大学通信教育部～カリキュラム変更に伴う科目読替え・経過措置等について（お知らせ）～』等でお知らせしたものをまとめたものです。

また、2013年4月からのメディアスクーリングの拡充をはじめとした各種制度の変更については、次頁を参照してください。

●各種制度の変更の概要

項 目	変更の概要
メディアスクーリングの拡充・開講形態の変更	・メディアスクーリングの科目数の増加（2013年度から5カ年計画） ・市ヶ谷キャンパスでの最終講義・最終試験の廃止（試験は「メディアスクーリング試験」又は「レポート試験」として実施）
卒業論文に関する変更 ※2014年3月卒業から	・卒業要件を充足した場合は、本人の意思にかかわらず卒業〈法・経済学部〉（ただし、年度途中で卒業する場合は申請が必要） ・「卒業申請」手続の廃止〈全学部〉
年間履修単位数の上限の変更	・年間履修単位：49単位まで（2012年度までは40単位） ※教職・資格科目履修時は、合計60単位まで ・年間スクーリング登録単位：49単位まで（2012年度までは36単位） ※49単位には教職・資格科目を含む
スクーリングの変更	・週末スクーリングの拡大 ・ゴールデンウィーク（GW）スクーリングの新設 ・地方スクーリングの開講場所の変更（札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡）
学習フォロー体制の強化	・通信学習のシラバスの作成・公表
レポート提出の変更	・年間の同一科目・設題の提出回数：3回まで ・年間のレポート受付回数：12回（2012年度までは15回）
単位修得試験の変更	・試験結果が不合格の場合のみ同一科目の再受験が可能（ただし、試験結果が判明しない場合は再受験が可能） ・試験に欠席した場合は次回以降の受験が可能 ・試験範囲の事前公表（適切と判断した科目のみ）
在学年限（12年）の見直し	〈2002年度以前入学者、2003年度2・3年次編入学者、2004年度3年次編入学者〉 ・2015年度以降に「卒業計画書」の提出 ・在籍期間は最長2026年度末まで 〈2003年度以降入学者〉（2003年度2・3年次編入学者、2004年度3年次編入学者を除く） ・「再度の入学」制度の導入 ・「再度の入学」後の在学期間は、休学期間を除き12年
スクーリング受講料の改定	・メディア：1科目20,000円（2012年度までは30,000円） ・春・夏・秋・冬期、週末、（GW）：1科目15,000円（2012年度までは10,000円） ※地方スクーリングは据え置き（1科目20,000円）

(1) 教養課程（一般教育科目、外国語及び保健体育科目）

《2013年4月から》

一般教育 36単位以上

人文分野 2科目 8単位以上

社会分野 8単位以上

自然分野 4科目 8単位以上

基礎特講 最大4単位まで

放送大学単位認定科目 最大10単位まで

外国語 1外国語 4単位（うちスクーリング2単位以上）

保健体育 2単位

合計 42単位

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備考
			人文分野			
	○		文学	4	1	} 2科目 8単位以上 必修
	○		西洋史	4	1	
	○		日本史	4	1	
	○		哲学	4	1	
	○		東洋史	4	1	
	○		論理学	4	1	
			社会分野			
	○		法学（日本国憲法）	2	1	} 8単位以上 必修
	○		法学	2	1	
	○		経済学	4	1	
	○		人文地理学	4	1	
	○		自然地理学	4	1	
	○		政治学概論	4	1	
	○		社会学	4	1	
	○		文化人類学	4	1	
	○		心理学	4	1	
			自然分野			
	○		数学1	2	1	} 4科目 8単位以上 必修
	○		数学2	2	1	
	○		数学3	2	1	
	○		生物学1	2	1	
	○		生物学2	2	1	
	○		生物学3	2	1	
	○		化学1	2	1	
	○		化学2	2	1	
	○		化学3	2	1	
	○		物理学1	2	1	
	○		物理学2	2	1	
	○		物理学3	2	1	
		○	基礎特講	2	1	4単位まで履修可
			放送大学単位認定科目			最大10単位まで
			外国語科目			
	○		英語2	2	1	} いずれか 1外国語 4単位 (うちスク2単位以上) 必修
			英語3	2	1	
	○		英語S	1×2	1	
			独語1	2	1	
	○		独語S	1×2	1	
			仏語1	2	1	
	○		仏語S	1×2	1	
			保健体育科目			
	○		健康・スポーツ科学概論	2	1	} いずれか 1科目 2単位
	○		スポーツ総合演習	2	1	

※2013年3月末で廃止：地理学、自然科学史（2013年4月以降経過措置あり）

※地理学を履修途中・修得済の場合、人文地理学、自然地理学を履修することはできません。

《2013年3月まで》

一般教育 36単位以上

人文分野 2科目8単位以上

社会分野 2科目8単位以上

自然分野 2科目8単位以上

基礎特講 最大4単位まで

放送大学単位認定科目 最大10単位まで

外国語 1外国語4単位（うちスクーリング2単位以上）

保健体育 2単位

合 計 42単位

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備 考
			人文分野			
	○		文学	4	1	} 2科目8単位以上 必修
	○		歴史Ⅰ（西洋史）	4	1	
	○		歴史Ⅱ（日本史）	4	1	
	○		哲学	4	1	
	○		心理学	4	1	
			社会分野			
	○		法学（日本国憲法2単位含む）	4	1	} 2科目8単位以上 必修
	○		経済学	4	1	
	○		地理学	4	1	
	○		政治学概論	4	1	
	○		社会学	4	1	
	○		文化人類学	4	1	
			自然分野			
	○		数学	4	1	} 2科目8単位以上 必修
	○		生物学	4	1	
	○		化学	4	1	
	○		物理学	4	1	
	○		自然科学史	4	1	
		○	基礎特講	2	1	4単位まで履修可
			放送大学単位認定科目			最大10単位まで
			外国語科目			
	○		英語2	2	1	} いずれか 1外国語4単位 （うちスク2単位以上） 必修
			英語3	2	1	
	○		英語S	1×2	1	
			独語1	2	1	
	○		独語S	1×2	1	
			仏語1	2	1	
	○		仏語S	1×2	1	
			保健体育科目			
	○		健康・スポーツ科学概論	2	1	} いずれか 1科目2単位
	○		スポーツ総合演習	2	1	

カリキュラム変更に伴う科目読替え・経過措置（一般教育科目、外国語及び保健体育科目）

1. 科目の読替え・経過措置に関すること

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年 4 月 1 日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年 3 月31日 以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年 3 月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年 3 月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選択	選択								
人文分野（分野で 2 科目 8 単位必修）										
	○		文 学	4	1	※変更なし	－	－	－	－
	○		歴 史 I （ 西 洋 史 ）	4	1	「西洋史」に名称変更する	変更なし （「歴史 I（西洋史）」を修得したものとする）	「西洋史」に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「西洋史」を履修する	2013年 4 月 1 日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
	○		歴 史 II （ 日 本 史 ）	4	1	「日本史」に名称変更する	変更なし （「歴史 II（日本史）」を修得したものとする）	「日本史」に変更する 学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる	「日本史」を履修する	2013年 4 月 1 日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
	○		哲 学	4	1	※変更なし	－	－	－	－
	○		心 理 学	4	1	社会分野に分野変更する	変更なし （人文分野の科目として取扱う）	2013年 3 月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年 3 月のレポート提出締切日までに 1 設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限る）は、《2年間の経過措置》（2015年 3 月31日まで）を設ける ①2015年 3 月31日（2014年度の最終の単位修得試験日・レポート提出日）までに 4 単位修得した場合は、変更なし（人文分野の科目として取扱う） ※この場合のレポート提出は、2014年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は 1 月の指定日）までに提出されたものに限る ②2015年 3 月31日（2014年度の最終の単位修得試験日・レポート提出日） 4 単位修得しなかった場合は、2015年 4 月 1 日以降、社会分野の科目として取扱う（学習履歴（レポート合格等）は引き継がれる）	社会分野の科目として履修する	2013年 4 月 1 日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、離籍（除籍又は退学）前に修得した単位を社会分野の科目で修得した単位として取扱う

社会分野（分野で8単位必修）									
○		法学 （日本国憲法 2単位含む）	4	1	2単位科目（「法学 （日本国憲法）」「法 学」）に変更する	変更なし （「法学（日本国憲法 2単位含む）」を修得 したものとする）	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートにつ いては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設 題以上の提出（免除を含む）がある場合に限る）は、 《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける ①スクーリングで2単位修得済の場合 経過措置期間は、以下の学習を行うことができる ・「法学（日本国憲法2単位含む）」のレポート提出 ・「法学（日本国憲法2単位含む）」の単位修得試験 受験 ・「法学（日本国憲法）」のスクーリング受講 経過措置期間終了日までに、上記に合格し2単位 修得した場合、修得済の2単位と合計して「法学 （日本国憲法2単位含む）」4単位修得とする 経過措置期間終了日までに、2単位修得できない 場合、2015年4月1日付で、修得済の2単位の科目 を「法学」に読替える（履修途中の学習履歴がある 場合はその履歴を無効にする） ②4単位を通信学習で履修途中の場合 経過措置期間は、「法学（日本国憲法2単位含む）」 のレポート提出及び単位修得試験ができる 経過措置期間終了日までに、4単位修得した場合 は有効（「法学（日本国憲法2単位含む）」4単位を 修得したものとする） 経過措置期間終了日までに、4単位修得しなかつ た場合は、学習履歴を無効にする	「法学（日本国憲法）」 「法学」を履修する	2013年4月1日以降 に復籍・再入学する 場合は、復籍・再入 学以降も、左記のと おり取扱う
○		経済学	4	1	※変更なし	－	－	－	－
○		地理学	4	1	科目を廃止する	変更なし （「地理学」を修得し たものとする）	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートにつ いては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設 題以上の提出（免除を含む）がある場合に限る）は、 《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける ①2015年3月31日までに4単位修得した場合は、有効 とする（「地理学」4単位を修得したものとする） ※この場合のレポート提出は、2014年度の成績対象となる最 終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日） までに提出されたものに限る ②経過措置期間終了日（2015年3月31日）までに4単 位修得しなかった場合は、学習履歴を無効にする	新規履修はできない	2013年4月1日以降 に復籍・再入学する 場合は、復籍・再入 学以降、左記のと おり取扱う

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必修区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選必	選択								
	○		政治学概論	4	1	※変更なし	－	－	－	－
	○		社会学	4	1	※変更なし	－	－	－	－
	○		文化人類学	4	1	※変更なし	－	－	－	－
自然分野（分野で8単位必修）										
	○		数 学	4	1	2単位科目に変更する	変更なし （「数学」を修得したものとする）	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限り）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける ①スクーリングで2単位修得済の場合 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目（数学1・数学2・数学3）を2単位を修得した場合、修得済の2単位と合計して旧カリキュラム科目（数学）4単位修得と読替える（その際、新カリキュラムの学習履歴は消え、再度互換科目を履修することも可能となる） 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目の単位が修得できない場合、2015年4月1日付で、新カリキュラムの読替え科目（数学3）の2単位として読替える（その場合、読替え科目の学習履歴も発生し、その後、数学3の重複受講はできない） ②4単位を通信学習で履修途中の場合又はスクーリングで2単位修得した後の残り2単位分を通信学習で履修途中の場合 経過措置期間に、レポート提出及び単位修得試験受験ができるレポート・単位修得試験に合格した場合は、4単位又は2単位修得したものとする 経過措置期間終了日までに4単位又は2単位修得できなかった場合は、学習履歴を無効とする	「数学1」「数学2」「数学3」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う

							2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限り）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける ①スクーリングで2単位修得済の場合 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目（生物学1・生物学2・生物学3）を2単位を修得した場合、修得済の2単位と合計して旧カリキュラム科目（生物学）4単位修得と読替える（その際、新カリキュラムの学習履歴は消え、再度互換科目を履修することも可能となる） 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目の単位が修得できない場合、2015年4月1日付で、新カリキュラムの読替え科目（生物学3）の2単位として読替える（その場合、読替え科目の学習履歴も発生し、その後、生物学3の重複受講はできない） ②4単位を通信学習で履修途中の場合又はスクーリングで2単位修得した後の残り2単位分を通信学習で履修途中の場合 経過措置期間に、レポート提出及び単位修得試験受験ができるレポート・単位修得試験に合格した場合は、4単位又は2単位修得したものとする 経過措置期間終了日までに4単位又は2単位修得できなかった場合は、学習履歴を無効とする	「生物学1」「生物学2」「生物学3」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	生物学	4	1	2単位科目に変更する	変更なし （「生物学」を修得したものとする）				

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選必	選択								
	○		化学	4	1	2単位科目に変更する	変更なし （「化学」を修得したものとする）	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限る）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける ①スクーリングで2単位修得済の場合 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目（化学1・化学2・化学3）を2単位を修得した場合、修得済の2単位と合計して旧カリキュラム科目（化学）4単位修得と読替える（その際、新カリキュラムの学習履歴は消え、再度互換科目を履修することも可能となる） 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目の単位が修得できない場合、2015年4月1日付で、新カリキュラムの読替え科目（化学3）の2単位として読替える（その場合、読替え科目の学習履歴も発生し、その後、化学3の重複受講はできない） ②4単位を通信学習で履修途中の場合又はスクーリングで2単位修得した後の残り2単位分を通信学習で履修途中の場合 経過措置期間に、レポート提出及び単位修得試験受験ができるレポート・単位修得試験に合格した場合は、4単位又は2単位修得したものとする 経過措置期間終了日までに4単位又は2単位修得できなかった場合は、学習履歴を無効とする	「化学1」「化学2」「化学3」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う

○	物理学	4	1	2単位科目に変更する	変更なし 〔「物理学」を修得した ものとする〕	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限り）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける ①スクーリングで2単位修得済の場合 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目（物理学1・物理学2・物理学3）を2単位を修得した場合、修得済の2単位と合計して旧カリキュラム科目（物理学）4単位修得と読替える（その際、新カリキュラムの学習履歴は消え、再度互換科目を履修することも可能となる） 経過措置期間終了日までに、新カリキュラムの互換科目の単位が修得できない場合、2015年4月1日付で、新カリキュラムの読替え科目（物理学2）の2単位として読替える（その場合、読替え科目の学習履歴も発生し、その後、物理学2の重複受講はできない） ②4単位を通信学習で履修途中の場合又はスクーリングで2単位修得した後の残り2単位分を通信学習で履修途中の場合 経過措置期間に、レポート提出及び単位修得試験受験ができるレポート・単位修得試験に合格した場合は、4単位又は2単位修得したものとする 経過措置期間終了日までに4単位又は2単位修得できなかった場合は、学習履歴を無効とする	「物理学1」「物理学2」「物理学3」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	自然科学史	4	1	科目を廃止する	変更なし 〔「自然科学史」を修得した ものとする〕	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限り）は、《2年間の経過措置》（2015年3月31日まで）を設ける ①2015年3月31日（2014年度の最終の単位修得試験日・レポート提出日）までに4単位修得した場合は、有効とする（「自然科学史」4単位を修得したものとする） ※この場合のレポート提出は、2014年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されたものに限る ②経過措置期間終了日（2015年3月31日）までに4単位修得しなかった場合は、学習履歴を無効にする	新規履修はできない	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降も、左記のとおり取扱う

2012年度のカリキュラム						2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い				
必選区分			科目名称	構成単位	履修学年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年3月31日以前に、科目構成単位を修得した場合	2013年3月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選択	選択								
		○	基礎特講	2	1	※変更なし	－	－	－	－
			放送大学単位 認定科目			※変更なし	－	－	－	－
外国語科目（いずれか1外国語4単位（うちスクーリングで2単位以上）必修）										
	○		英語	2	2	1	※変更なし	－	－	－
	○		英語	3	2	1	※変更なし	－	－	－
	○		英語	S	1	× 2	※変更なし	－	－	－
	○		独語	1	2	1	※変更なし	－	－	－
	○		独語	S	1	× 2	※変更なし	－	－	－
	○		仏語	1	2	1	※変更なし	－	－	－
	○		仏語	S	1	× 2	※変更なし	－	－	－
保健体育科目（いずれか1科目2単位必修）										
	○		健康・スポーツ 科学概論	2	1	※変更なし	－	－	－	－
	○		スポーツ 総合演習	2	1	※変更なし	－	－	－	－

- ※1 「履修途中」とは、科目構成単位を充たしていないが、単位修得のための有効な学習履歴（レポート1設題以上の提出（免除を含む）、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る）があることをいいます。
なお、この場合のレポート提出は、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されたものに限り、最終提出日後に提出された場合は、「履修途中」として取扱いません。
- ※2 「学習未着手」とは、単位修得のための有効な学習履歴（レポート1設題以上の提出（免除を含む）、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る）がないことをいいます。
なお、この場合のレポート提出がないことは、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されていないことに限ります。
- ※3 復籍・再入学においては、修得単位として評価を得られなかった履修途中科目の学習履歴は、復籍・再入学後に引き継がれません（従来どおり）。

2. その他

項目	変更内容等
科目の新設	2013年4月から、以下の科目を新設する 「人文地理学」「自然地理学」「東洋史」「論理学」
社会分野の卒業要件の変更	2013年4月から、以下のとおり変更する（2013年4月1日に在籍する全ての学生を対象に変更する） ＜変更前＞2科目8単位以上 ＜変更後＞8単位以上
自然分野の卒業要件の変更	2013年4月から、以下のとおり変更する（2013年4月1日に在籍する全ての学生を対象に変更する） ＜変更前＞2科目8単位以上 ＜変更後＞4科目8単位以上 ※ただし、変更前に旧カリキュラム科目で単位修得した場合は、旧カリキュラム科目（4単位）につき2科目履修したものとみなす この場合、「数学」「化学」「生物学」「物理学」「自然科学史」のうちの複数の分野の科目の単位を修得することを要する

⑥文学部地理学科

《2013年4月から》

必修（スクーリング必修を除く）	12単位
スクーリング必修	6単位
選択必修「人文」「自然」から各8単位以上	36単位以上
「地誌・その他」から16単位以上（8単位以上）	
選択必修（36単位を超えた単位）	12単位以上
選択	
卒業論文	8単位
合計	82単位

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備 考
○			卒業論文	8	4	
○			人文地理学概論（1）	2	1	
○			自然地理学概論（1）	2	1	
○			地理調査法（人文編）	4	1	
○			地理調査法（自然編）	4	1	
○			現地研究（人文）	1	3	※スクーリング必修科目
○			現地研究（自然）	1	3	※スクーリング必修科目
○	○		人文地理学演習	2	3	※スクーリング必修科目 2単位を超えて修得した場合は、1回2単位まで選択必修科目
○	○		自然地理学演習	2	3	※スクーリング必修科目 2単位を超えて修得した場合は、1回2単位まで選択必修科目
	○		自然地理学概論（2）	2	1	8単位以上 必修
	○		地学概論	4	2	
	○		自然地理学（地形）	4	3	
	○		自然地理学（生物・土壌）	4	3	
	○		自然地理学（気候）	4	3	
	○		自然地理学（海洋・陸水）	4	3	
	○		人文地理学概論（2）	2	1	8単位以上 必修
	○		経済地理学	4	3	
	○		人文地理学（都市）	4	3	
	○		人文地理学（農業）	4	3	
	○		人文地理学特講（地域・産業・生活）	4	3	
	○		文化地理学	4	3	
	○		地誌学概論	4	2	16単位以上 必修 ※（8単位以上必修）
	○		日本地誌（1）（自然編）	4	2	
	○		日本地誌（2）（人文編）	4	2	
	○		世界地誌（1）（アジア）	4	3	
	○		世界地誌（2）（アメリカ・大洋州）	4	3	
	○		世界地誌（3）（欧・アフリカ）	4	3	
	○		地誌学特講	2	2	
	○		地図学	4	3	
	○		測量学及び測量実習（1）	2	3	
	○		測量学及び測量実習（2）	2	3	
	○		写真・読図演習（1）	2	3	
	○		写真・読図演習（2）	2	3	
	○		地理情報システム（GIS）（1）	2	3	
	○		地理情報システム（GIS）（2）	2	3	
		○	人文地理学特講	2	2	科目問わず 合計4単位まで卒業所要単位にカウント
		○	自然地理学特講	2	2	
		○	地理特講（人文地理学演習）	2	3	人文地理学演習を4単位を超えて修得した場合
		○	地理特講（自然地理学演習）	2	3	自然地理学演習を4単位を超えて修得した場合
		○	地理特講（地誌学特講）	2	2	地誌学特講を2単位を超えて修得した場合
		○	地域特講（現地研究（人文））	1	3	現地研究（人文）を1単位を超えて修得した場合
		○	地域特講（現地研究（自然））	1	3	現地研究（自然）を1単位を超えて修得した場合
		○	史学概論	4	3	
		○	日本史概説	4	3	
		○	東洋史概説	4	3	
		○	西洋史概説	4	3	
		○	社会経済学A	2	3	
		○	社会経済学B	2	3	
		○	総合特講	2	1	16単位まで履修可
		○	情報科学実習	2	2	2単位まで履修可
		○	総合外国語特講	2	2	2単位まで履修可
		○	スポーツ特講	2	2	2単位まで履修可
		○	（他学部・他学科公開科目）	2	2	16単位まで履修可

※2013年3月末で廃止：人文地理学概論、地図学演習、地理特講（地図学演習）、地図学Ⅰ、地図学Ⅱ、地理学特講（一部の科目は2013年4月以降経過措置あり）

《2013年3月まで》

必修（スクーリング必修を除く）	8単位
スクーリング必修	10単位
選択必修「人文」「自然」「地誌・その他」の各分野から2科目以上	36単位
選択必修（9科目36単位を超えた単位）	20単位以上
選択	20単位以上
卒業論文	8単位
合計	82単位

必修	選必	選択	授業科目	構成単位	履修学年	備考
○			卒業論文	8	4	
	○		人文地理学概論	4	1	
		○	地理学概論	4	3	
○			地理調査法（人文編）	4	2	
○			地理調査法（自然編）	4	2	
○			現地研究	1×2	3	2単位必修
○			人文地理学演習	2	3	
○			自然地理学演習	2	3	
○			地図学演習	2	3	
	○		地学概論	4	2	
	○		自然地理学（地形）	4	3	
	○		自然地理学（生物・土壌）	4	3	
	○		自然地理学（気候）	4	3	
	○		自然地理学（海洋・陸水）	4	3	
	○		経済地理学	4	3	
	○		人文地理学（都市）	4	3	
	○		人文地理学（農業）	4	3	
	○		人文地理学特講（地域・産業・生活）	4	3	
	○		文化地理学	4	3	
		○	地誌学通論	4	3	
	○		日本地誌Ⅰ（自然編）	4	2	
	○		日本地誌Ⅱ（人文編）	4	2	
	○		世界地誌Ⅰ（アジア）	4	2	
	○		世界地誌Ⅱ（アメリカ・大洋州）	4	3	
	○		世界地誌Ⅲ（欧・アフリカ）	4	3	
○			地誌学特講	2	2	
	○		地図学Ⅱ	4	3	
		○	人文地理学特講	2	2	
		○	自然地理学特講	2	2	
		○	地理特講（人文地理学演習）	2	3	
		○	地理特講（自然地理学演習）	2	3	
		○	地理特講（地誌学特講）	2	2	
		○	地理特講（地図学演習）	2	2	
	○		地図学Ⅰ	4	3	
	○		地理学特講	4	3	
		○	史学概論	4	3	
		○	日本史概説	4	3	
		○	東洋史概説	4	3	
		○	西洋史概説	4	3	
		○	経済原論	4	3	
		○	総合特講	2	1	16単位まで履修可
		○	情報科学実習	2	2	2単位まで履修可
		○	総合外国語特講	2	2	2単位まで履修可
		○	スポーツ特講	2	2	2単位まで履修可
		○	（他学部・他学科公開科目）	2	2	16単位まで履修可

カリキュラム変更に伴う科目読替え・経過措置（文学部地理学科）

1. 科目の読替え・経過措置に関すること

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年 4 月 1 日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成 単位	履 修 学 年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年 3 月31日 以前に、 科目構成単位を修得した 場合	2013年 3 月31日時点で、履修途中（※ 1） の場合	2013年 3 月31日 時点 で、学習未着手（※ 2） の場合	備考（※ 3）
必修	選 必	選 択								
○			卒 業 論 文	8	4	※変更なし	－	－	－	－
○			人 文 地 理 学 概 論	4	1	科目を廃止する 履修状況により、卒業 所要単位への算入 方法を変更する	①卒業判定時に、必修科目の修得単位数が12単位未満の場合 2単位を必修科目に算入し、残りの2単位を選択必修科目（人文分野）に算入する （※ 4） また、選択必修科目の人文分野の卒業要件（8単位以上修得）の判定においては、4単位修得したものとする ②卒業判定時に、必修科目の修得単位数が12単位修得済の場合 4単位を選択必修科目（人文分野）に算入する	2013年 3 月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年 3 月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限る）は、《2年間の経過措置》（2015年 3 月31日まで）を設ける ①2015年 3 月31日までに 4 単位修得した場合は、有効とする（「人文地理学概論」 4 単位を修得したものとする） ※この場合のレポート提出は、2014年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されたものに限る ※卒業判定時の扱いについては、左記のとおり取扱う。 ②経過措置期間終了日（2015年 3 月31日）までに 4 単位修得しなかった場合は、学習履歴を無効にする	新規履修はできない	2013年 4 月 1 日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、修得単位は無効とする（卒業に有効な単位とならない）

			○ 地理学概論	4	3	科目を廃止する履修状況により、卒業所要単位への算入方法を変更する	①卒業判定時に、必修科目の修得単位数が12単位未満の場合 2単位を必修科目に算入し、残りの2単位を選択必修科目（自然分野）に算入する（※4） また、選択必修科目の自然分野の卒業要件（8単位以上修得）の判定においては、4単位修得したものとする ②卒業判定時に、必修科目の修得単位数が12単位修得済の場合 4単位を選択必修科目（自然分野）に算入する	2013年3月31日時点で履修途中の場合（レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出（免除を含む）がある場合に限り）は、『2年間の経過措置』（2015年3月31日まで）を設ける ①2015年3月31日までに4単位修得した場合は、有効とする（「地理学概論」4単位を修得したものとする） ※この場合のレポート提出は、2014年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されたものに限る ※卒業判定時の扱いについては、左記のとおり取扱う ②経過措置期間終了日（2015年3月31日）までに4単位修得しなかった場合は、以下のとおりとする 1 設題以上のレポートを合格している場合は、2015年4月1日付で「自然地理学概論（1）」のレポートに合格しているものと読替える 単位修得試験に合格している場合は、2015年4月1日付で「自然地理学概論（1）」の単位修得試験に合格しているものと読替える その他の学習履歴を無効にする	新規履修はできない	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、修得単位は無効とする（卒業に有効な単位とならない）
○			地理調査法（人文編）	4	2	履修学年を1年に引下る	※変更なし	※変更なし	1年から履修できる	—
○			地理調査法（自然編）	4	2	履修学年を1年に引下る	※変更なし	※変更なし	1年から履修できる	—
○			現地研究	1×2	3	「現地研究（人文）」 「現地研究（自然）」 （各1単位）に名称変更する	変更なし （「現地研究」を修得したものとする）	「現地研究（人文）」又は「現地研究（自然）」を履修する ※人文・自然を各1回合計2単位修得することを要する（従来どおり） ※以下のいずれかにより、現地研究の卒業要件を充足したものとする ①「現地研究」1単位＋「現地研究（人文）」1単位 ②「現地研究」1単位＋「現地研究（自然）」1単位	「現地研究（人文）」 「現地研究（自然）」を履修する	「現地研究（人文）」 「現地研究（自然）」は、合わせて年間2回まで受講できる
○			人文地理学演習	2	3	2単位を超えて修得した場合は、1回2単位まで選択必修科目とする	※変更なし	※該当なし	「人文地理学演習」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○			自然地理学演習	2	3	2単位を超えて修得した場合は、1回2単位まで選択必修科目とする	※変更なし	※該当なし	「自然地理学演習」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年4月1日以降）の取扱い					
必修区分			科目名称	構成 単位	履 修 学 年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年3月31日以前に、 科目構成単位を修得した 場合	2013年3月31日時点で、履修途中（※1）の場合	2013年3月31日時点で、学習未着手（※2）の場合	備考（※3）
必修	選択	選択								
○			地 図 学 演 習	2	3	科目を廃止する	①地図学演習（2単位）のみ修得した場合 卒業判定時に、必修科目の修得単位数が12単位未満の場合は必修科目に算入し、12単位の場合は選択科目に算入する（※4）	※該当なし	新規履修はできない	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、修得単位は無効とする（卒業に有効な単位とならない）
		○	地 理 特 講 （地図学演習）	2	3	科目を廃止する 履修状況により、卒業所要単位への算入方法を変更する	②地図学演習（2単位）と地理特講（地図学演習）（2単位）を修得した場合 卒業判定時に、必修科目の修得単位数が12単位未満の場合は地理特講（地図学演習）（2単位）を必修科目に算入し、地図学演習（2単位）を選択科目に算入する。（※4） 12単位の場合は2科目とも選択科目に算入する。	※該当なし	新規履修はできない	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、修得単位は無効とする（卒業に有効な単位とならない）
	○		地 学 概 論	4	2	※変更なし	－	－	－	－
	○		自然地理学 （地形）	4	3	※変更なし	－	－	－	－
	○		自然地理学 （生物・土壌）	4	3	※変更なし	－	－	－	－
	○		自然地理学 （気候）	4	3	※変更なし	－	－	－	－
	○		自然地理学 （海洋・陸水）	4	3	※変更なし	－	－	－	－
	○		経済地理学	4	3	※変更なし	－	－	－	－

○	人文地理学 (都市)	4	3	※変更なし	—	—	—	—
○	人文地理学 (農業)	4	3	※変更なし	—	—	—	—
○	人文地理学特講 (地域・産業・生活)	4	3	※変更なし	—	—	—	—
○	文化地理学	4	3	※変更なし	—	—	—	—
○	地誌学通論	4	3	「地誌学概論」に名称 変更する 選択必修科目に区分 変更する 履修学年を2年に引 下る	名称は変更しない 選択必修科目に変更する (「地誌学通論」を選択必 修科目で修得したものとする)	「地誌学概論」(選択必修科目)に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「地誌学概論」(選択必修科目)を履修する 2年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	日本地誌Ⅰ (自然編)	4	2	「日本地誌(1)(自然編)」に名称変更する	変更なし (「日本地誌Ⅰ(自然編)」を修得したものとする)	「日本地誌(1)(自然編)」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「日本地誌(1)(自然編)」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	日本地誌Ⅱ (人文編)	4	2	「日本地誌(2)(人文編)」に名称変更する	変更なし (「日本地誌Ⅱ(人文編)」を修得したものとする)	「日本地誌(2)(人文編)」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「日本地誌(2)(人文編)」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	世界地誌Ⅰ (アジア)	4	2	「世界地誌(1)(アジア)」に名称変更する 履修学年を3年に引 上る	変更なし (「世界地誌Ⅰ(アジア)」を修得したものとする)	「世界地誌(1)(アジア)」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる 2年生であっても、継続して在籍する限り、引き続き履修できる	「世界地誌(1)(アジア)」を履修する 3年から履修できる	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う ただし、復籍・再入学以降、3年から履修できる
○	世界地誌Ⅱ (アメリカ・大洋州)	4	3	「世界地誌(2)(アメリカ・大洋州)」に名称変更する	変更なし (「世界地誌Ⅱ(アメリカ・大洋州)」を修得したものとする)	「世界地誌(2)(アメリカ・大洋州)」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「世界地誌(2)(アメリカ・大洋州)」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
○	世界地誌Ⅲ (欧・アフリカ)	4	3	「世界地誌(3)(欧・アフリカ)」に名称変更する	変更なし (「世界地誌Ⅲ(欧・アフリカ)」を修得したものとする)	「世界地誌(3)(欧・アフリカ)」に変更する 学習履歴(レポート合格等)は引き継がれる	「世界地誌(3)(欧・アフリカ)」を履修する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年 4 月 1 日以降）の取扱い					
必修区分			科目名称	構成 単位	履 修 学 年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年 3 月31日 以前に、 科目構成単位を修得した 場合	2013年 3 月31日時点で、履修途中（※ 1）の場合	2013年 3 月31日時点 で、学習未着手（※ 2）の場合	備考（※ 3）
必修	選 必	選 択								
○			地 誌 学 特 講	2	2	選択必修科目に区分 変更する	①地誌学特講（2 単位） のみ修得した場合 選択必修科目に変更 する。ただし、卒業判 定時に必修科目の修得 単位数が12単位未満の 場合は必修科目に算入 する（※ 4）	※該当なし	選択必修科目として 履修する	2013年 4 月 1 日以降 に復籍・再入学する 場合は、復籍・再入 学以降、左記のとおり 取扱う
		○	地 理 特 講 （地誌学特講）	2	2	履修状況により、卒業 所要単位への算入 方法を変更する	②地誌学特講（2 単位） と地理特講（地誌学特 講）（2 単位）を修得 した場合 地誌学特講（2 単位） を選択必修科目に変更 する（選択必修科目で 修得したものとする）。 ただし、卒業判定時に 必修科目の修得単位数 が12単位未満の場合は 地理特講（地誌学特 講）（2 単位）を必修 科目に算入する（※ 4）	※該当なし	※変更なし	2013年 4 月 1 日以降 に復籍・再入学する 場合は、復籍・再入 学以降、左記のとおり 取扱う
○			地 図 学 Ⅱ	4	3	科目を廃止する	変更なし （「地図学」（地誌・その 他の分野）を修得したも のとする）	2013年 3 月31日時点で履修途中の場合（リポート については、2013年 3 月のリポート提出締切日ま でに 1 設題以上の提出（免除を含む）がある場合に 限る）は、《2 年間の経過措置》（2015年 3 月31日 まで）を設ける ①2015年 3 月31日までに 4 単位修得した場合は、 有効とする（「地図学Ⅱ」 4 単位を修得したもの とする） ※この場合のリポート提出は、2014年度の成績対象とな る最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は 1 月の 指定日）までに提出されたものに限る ②経過措置期間終了日（2015年 3 月31日）までに 4 単位修得しなかった場合は、学習履歴を無効に する	新規履修はできない	2013年 4 月 1 日以降 に復籍・再入学する 場合は、復籍・再入 学以降、修得単位は 無効とする （卒業に有効な単位 とならない）
		○	人文地理学特講	2	2	※変更なし	－	－	－	－

	○	自然地理学特講	2	2	※変更なし	—	—	—	—
	○	地 理 特 講 (人文地理学演習)	2	3	卒業所要単位への算入の条件を「人文地理学演習」を4単位を超えて修得した場合に変更する	「人文地理学演習」(選択必修科目)を修得したものとする	※該当なし	「人文地理学演習」を4単位を超えて修得した場合に卒業所要単位に算入する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
	○	地 理 特 講 (自然地理学演習)	2	3	卒業所要単位への算入の条件を「自然地理学演習」を4単位を超えて修得した場合に変更する	「自然地理学演習」(選択必修科目)を修得したものとする	※該当なし	「自然地理学演習」を4単位を超えて修得した場合に卒業所要単位に算入する	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
	○	地 図 学 I	4	3	科目を廃止する	変更なし (「地図学Ⅰ」を修得したものとする) ただし、選択必修科目(地誌・その他の分野)として取扱う	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出(免除を含む)がある場合に限る)は、《2年間の経過措置》(2015年3月31日まで)を設ける ①2015年3月31日までに4単位修得した場合は、有効とする(「地図学Ⅰ」4単位を修得したものとする) ※この場合のレポート提出は、2014年度の成績対象となる最終提出日(前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日)までに提出されたものに限る ②経過措置期間終了日(2015年3月31日)までに4単位修得しなかった場合は、学習履歴を無効にする	新規履修はできない	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、修得単位は無効とする(卒業に有効な単位とならない)
	○	地 理 学 特 講	4	3	科目を廃止する	変更なし (「地理学特講」を修得したものとする) ただし、選択必修科目(地誌・その他の分野)として取扱う	2013年3月31日時点で履修途中の場合(レポートについては、2013年3月のレポート提出締切日までに1設題以上の提出(免除を含む)がある場合に限る)は、《2年間の経過措置》(2015年3月31日まで)を設ける ①2015年3月31日までに4単位修得した場合は、有効とする(「地理学特講」4単位を修得したものとする) ※この場合のレポート提出は、2014年度の成績対象となる最終提出日(前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日)までに提出されたものに限る ②経過措置期間終了日(2015年3月31日)までに4単位修得しなかった場合は、学習履歴を無効にする	新規履修はできない	2013年4月1日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、修得単位は無効とする(卒業に有効な単位とならない)
	○	史 学 概 論	4	3	※変更なし	—	—	—	—
	○	日 本 史 概 説	4	3	※変更なし	—	—	—	—

2012年度のカリキュラム					2013年度以降（2013年 4 月 1 日以降）の取扱い					
必選区分			科目名称	構成 単位	履 修 学 年	変更内容 （詳細は右記参照）	2013年 3 月31日 以前に、 科目構成単位を修得した 場合	2013年 3 月31日時点で、履修途中（※ 1）の場合	2013年 3 月31日 時点 で、学習未着手（※ 2）の場合	備考（※ 3）
必修	選 必	選 択								
		○	東 洋 史 概 説	4	3	※変更なし	－	－	－	－
		○	西 洋 史 概 説	4	3	※変更なし	－	－	－	－
		○	経 済 原 論	4	3	2 単位科目（「社会経済学 A」「社会経済学 B」）に変更する	変更なし （「経済原論」を修得したものとする）	①スクーリングで 2 単位修得済の場合 「社会経済学 B」を修得したものと読替える ②スクーリングで 2 単位修得した後の残り 2 単位分について、通信学習で履修途中の場合 履修途中の学習履歴を「社会経済学 A」に読替える ●レポートの読替え 「経済原論」の設題第 1 回の提出・合格 →「社会経済学 A」の設題第 1 回の提出・合格 ●単位修得試験の読替え 「経済原論」の合格 →「社会経済学 A」の合格 ※使用設題・問題の取扱い《2 年間の経過措置》 2015年 3 月31日（2014年度最終の単位修得試験日・レポート提出日）まで、「経済原論」の設題・問題を使用する（経過措置期間終了日（2015年 3 月31日）以降は、「社会経済学 A」の設題・問題を使用する） ③通信学習でのみ履修途中の場合《2 年間の経過措置》 2015年 3 月31日（2014年度最終の単位修得試験日・レポート提出日）までに 4 単位修得した場合は有効（「経済原論」 4 単位を修得したものとする） 経過措置期間終了日（2015年 3 月31日）までに 4 単位修得しなかった場合は、学習履歴を無効にする	「社会経済学 A」「社会経済学 B」を履修する	2013年 4 月 1 日以降に復籍・再入学する場合は、復籍・再入学以降、左記のとおり取扱う
		○	総 合 特 講	2	1	※変更なし	－	－	－	－
		○	情報科学実習	2	2	※変更なし	－	－	－	－
		○	総合外国語特講	2	2	※変更なし	－	－	－	－
		○	スポーツ特講	2	2	※変更なし	－	－	－	－
		○	※他学部・他学科公開科目	2	2	※変更なし	－	－	－	－

- ※注1 「履修途中」とは、科目構成単位を充たしていないが、単位修得のための有効な学習履歴（レポート1設題以上の提出（免除を含む）、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る）があることをいいます。なお、この場合のレポート提出は、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績対象となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されたものに限り、最終提出日後に提出された場合は、「履修途中」として取扱いません。
- ※注2 「学習未着手」とは、単位修得のための有効な学習履歴（レポート1設題以上の提出（免除を含む）、スクーリングによる単位修得のいずれかに限る）がないことをいいます。なお、この場合のレポート提出がないことは、上記に特に記載がある場合を除き、2012年度の成績となる最終提出日（前期生・後期生ともに12月又は1月の指定日）までに提出されていないことに限ります。
- ※注3 復籍・再入学においては、修得単位として評価を得られなかった履修途中科目の学習履歴は、復籍・再入学後に引き継がれません（従来どおり）。
- ※注4 卒業するためには地理調査法（人文編）、地理調査法（自然編）、現地研究（人文）、現地研究（自然）、人文地理学演習、自然地理学演習の6科目は修得する必要があります。（人文地理学概論（1）、自然地理学概論（1）の単位数分を上限として算入することが可能です。）

2. その他

項目	変更内容等																														
科目の新設①	2013年4月から、以下の科目を新設する 「測量学及び測量実習（１）」「測量学及び測量実習（２）」 「写真・読図演習（１）」「写真・読図演習（２）」 「地理情報システム（GIS）（１）」「地理情報システム（GIS）（２）」 「地図学」「人文地理学概論（１）」「人文地理学概論（２）」「自然地理学概論（１）」「自然地理学概論（２）」 ※2013年3月31日以前に、「地図学Ⅰ」・「地図学Ⅱ」のいずれか、または両方とも単位修得した場合、「地図学」の新規履修はできない。																														
科目の新設② （読替え科目）	2013年4月から、以下の科目を新設する 「地域特講（現地研究・人文）」 ※「現地研究（人文）」を1単位を超えて修得した場合、卒業所要単位として算入する 「地域特講（現地研究・自然）」 ※「現地研究（自然）」を1単位を超えて修得した場合、卒業所要単位として算入する																														
専門教育科目の卒業要件の変更	2013年4月から、以下のとおり変更する（2013年4月1日に在籍する全ての学生を対象に変更する） ＜変更前＞ <table><tr><td>必修</td><td>8単位</td><td></td></tr><tr><td>スクーリング必修</td><td>10単位</td><td></td></tr><tr><td>選択必修</td><td>36単位</td><td>（「人文」「自然」「地誌・その他」の各分野から2科目以上）</td></tr><tr><td>選択必修（36単位超過分）＋選択</td><td>20単位</td><td></td></tr><tr><td>卒業論文</td><td>8単位</td><td></td></tr></table> ＜変更後＞ <table><tr><td>必修</td><td>12単位</td><td></td></tr><tr><td>スクーリング必修</td><td>6単位</td><td></td></tr><tr><td>選択必修</td><td>36単位以上</td><td>（「人文」「自然」の各分野から各8単位以上、「地誌・その他」の分野から16単位以上）</td></tr><tr><td>選択必修（超過分）＋選択</td><td>12単位以上</td><td></td></tr><tr><td>卒業論文</td><td>8単位</td><td></td></tr></table>	必修	8単位		スクーリング必修	10単位		選択必修	36単位	（「人文」「自然」「地誌・その他」の各分野から2科目以上）	選択必修（36単位超過分）＋選択	20単位		卒業論文	8単位		必修	12単位		スクーリング必修	6単位		選択必修	36単位以上	（「人文」「自然」の各分野から各8単位以上、「地誌・その他」の分野から16単位以上）	選択必修（超過分）＋選択	12単位以上		卒業論文	8単位	
必修	8単位																														
スクーリング必修	10単位																														
選択必修	36単位	（「人文」「自然」「地誌・その他」の各分野から2科目以上）																													
選択必修（36単位超過分）＋選択	20単位																														
卒業論文	8単位																														
必修	12単位																														
スクーリング必修	6単位																														
選択必修	36単位以上	（「人文」「自然」の各分野から各8単位以上、「地誌・その他」の分野から16単位以上）																													
選択必修（超過分）＋選択	12単位以上																														
卒業論文	8単位																														